

船越準蔵さんに聴く

遠い昔から人は、恐ろしい天災や病氣、紛争や殺し合いを何度も経験したあげく、「人は仲良く助け合うほかには生き抜く道はない」と気づくようになった。
助け合って生きるとは、自分勝手に生きることの百倍も難儀である。助けを求め人がいれば何があっても助けにいかなければならぬ。憎い人、嫌いな人とも肩を組まなければならぬ。
弱い人、手のかかる人を、元気で丈夫な人の何倍も面倒を見なければならぬ。やりたくないこと、欲しいものがあっても、他人が迷惑するなら我慢しなければならぬ。それがどんなに辛くても難儀でも、人が幸

せに生き抜く道はそれしかない。
それを長い間続けていこうちに、助け合って生きることは「人間性」となった。
だから、幸せの青い鳥は、仲良く助け合う人々の胸だけにすむものだと思う。それは巨万の富でも買えず、巨大な権力でも奪うことはできない。

昔から、人に不幸を与えて幸せになった人など、この世に一人もない。幸せは、ほんのわずかでも、人に幸せをあげようとする温かい心の中だけに住むのだから。

船越準蔵さん・・・元中学校長

夏休みの生活についてのお願ひ

子供達が待っていた夏休み。楽しく充実した休みとなりますように願っております。
特に、左記のことについては、十分にお気をつけください。

(1) 我が子と同じように
お子さんの友達でも、「あかんことはあかん」といいましょう。ズケズケ言つて、「うるさい大人だなあ」と思われましょう。

(2) 昼間の子供の遊び
昼間、どこで誰とどんな遊びをしているか関心をお持ちください。友人の家に入り浸りゲームばかりしていたり、きまりを守っていない遊びをしていることもありま

(3) 子供の持ちもの
友人間での物品の売買、お金の貸し借りなどのトラブルも夏休みによく起きます。プライベートといわずに、部屋の中、カバンや財布の中も、時には見ることは必要でしょう。

(4) 友人宅への外泊
「一緒に勉強する」といった口実で夏休み中に友人宅に外泊したが、る子もでてくるようです。夜に友達と一緒に過ごすことは様々な誘惑に駆られます。また、小学校で外泊を許すと中高生になつての外泊も止めにくくなります。

(5) 江原夏祭りの参加
子供だけで祭りに参加させることはやめさせて下さい。子供が祭りに参加する場合、必ず、親と一緒に行動してください。また、豊岡などの校区外にも、子どもだけで行かせないで